

# 令和元年度下半期 地域経済景況調査報告書

大東商工会議所  
大 東 市

## ○目 的

地域経済の景況を把握するため、市内事業所を対象に景況調査を半期毎に年2回実施する。  
調査概要は以下の通り。

- 方 法 往復はがきによるアンケート方式、巡回等でも依頼・回収
- 調査期間 令和元年10月～令和2年3月
- 対 象 市内の1526事業所
- 回答状況 回答事業所 366社（令和2年5月1日現在）

## （業種）

非製造業	製造業	125社	34.2%
	建設業	51社	13.9%
	卸売業	24社	6.6%
	小売業	50社	13.7%
	飲食店	20社	5.5%
	サービス業	96社	26.2%
	非製造業計	241社	65.8%
合 計	366社	100.0%	

## （従業員規模）

0～5人	220社	60.1%
6～20人	88社	24.0%
21～50人	26社	7.1%
51～100人	16社	4.4%
101人以上	16社	4.4%
合計	366社	100.0%

※四捨五入により合計が100.0%にならない場合がある

## ○調査データ

調査の結果を示す指標としてDI指数を採用した。DI指数とは、Diffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について「増加」「好転」した等とする企業割合から「減少」「悪化」した等とする企業割合を差し引いた数値である。即ち、プラスは上昇・増加・黒字基調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少・赤字基調等の企業割合が上回ったことを示す。

## 【全国の景況】

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・個人消費は、感染症の影響により、急速に減少している。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、感染症の影響により、このところ減少している。
- ・生産は、感染症の影響により減少している。
- ・企業収益は、感染症の影響により急速に減少している。
- ・企業の業況判断は、感染症の影響により、急速に悪化している。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、足下では弱い動きがみられる。
- ・消費者物価は、このところ横ばいとなっている。

先行きについては、感染症の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれる。また、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

\* 内閣府発表 月例経済報告（令和2年4月）による

## 【大東市の概要】

新型コロナウイルスの感染拡大が経営に及ぼす影響が「大きい」と答えた市内事業所は54%。「やや影響がある」との回答を合わせると91%にも達し、収束時期が不明な中、製造業・非製造業を問わず、売上高、営業利益、資金繰りなど多くの指標で軒並み急激な悪化傾向がみられた。大阪府の指標との比較でも厳しい結果が並び、新型コロナウイルス感染症の影響により大東市内の数多くの事業所企業が非常に厳しい経営環境下にあることが窺えた。今後、資金繰りをはじめとした諸対策に積極的に取り組む必要があると考えられる。

	出荷・売上高	製・商品単価	原材料価格	営業利益	採算状況	資金繰り	雇用状況	設備投資	来期の業況見通し
製造業									
非製造業									

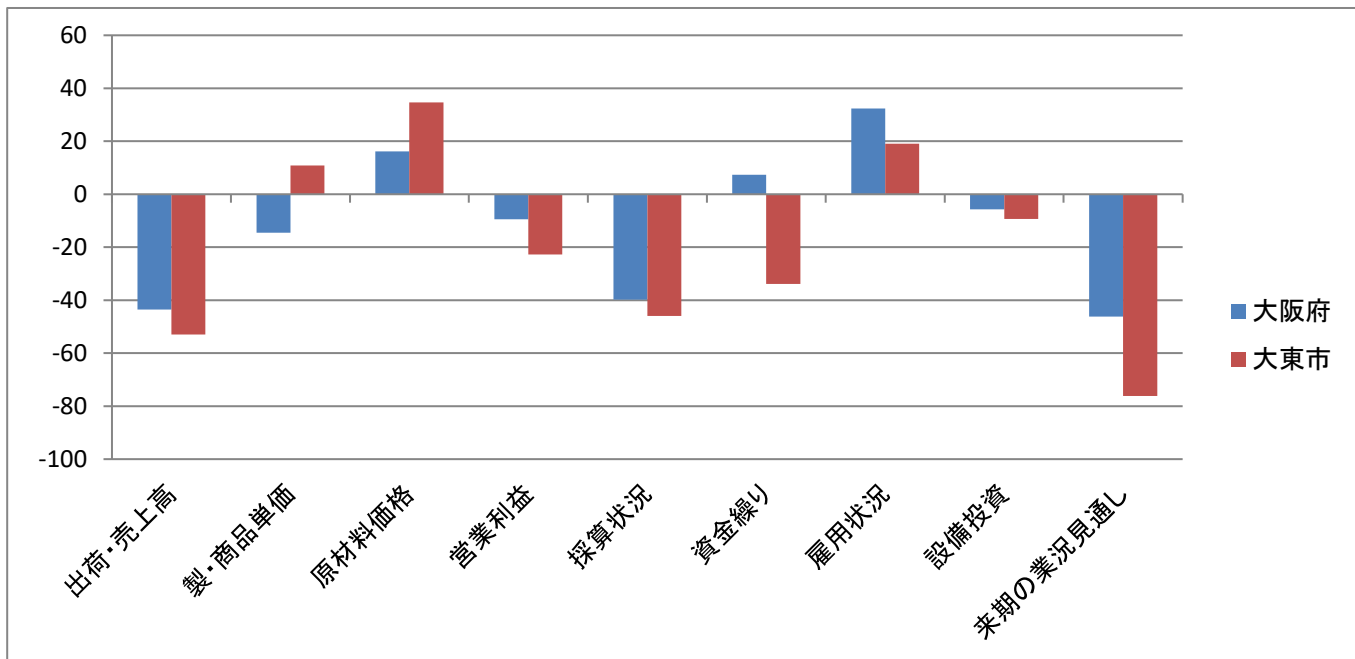
DI値： … 5以上 … -5～5未満 … -15～-5未満 … -25～-15未満 … -25未満

\* 原材料価格及び雇用状況に関しては、数値を反転して評価する。

## 【大東市内企業の景況及び大阪府との比較】

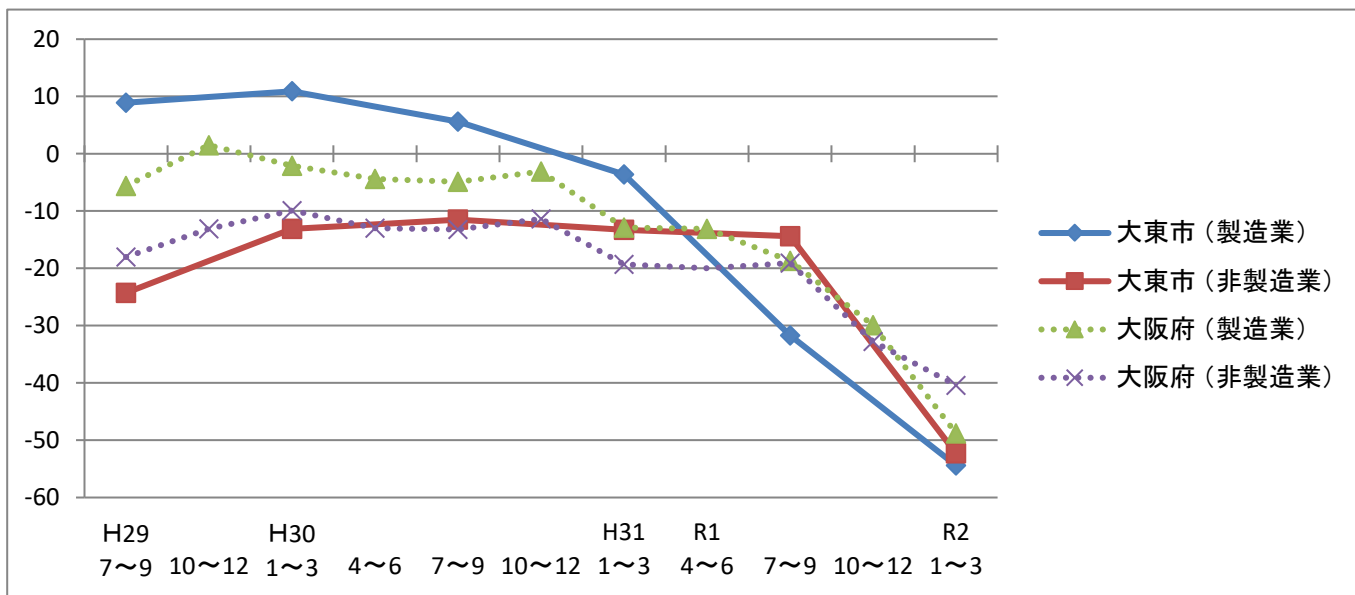
### DIのまとめ（大阪府との比較）

大阪府の指標との比較では、大東市内企業は「製・商品単価」や「雇用状況(不足感)」の分野で上回ったものの、他の指標は大阪府の指標よりもマイナスであった。中でも「資金繰り」「原材料価格」「営業利益」の指標は大阪府の指標を大きく下回り、感染症の影響から「来期の業況見通し」は一層厳しい結果となった。



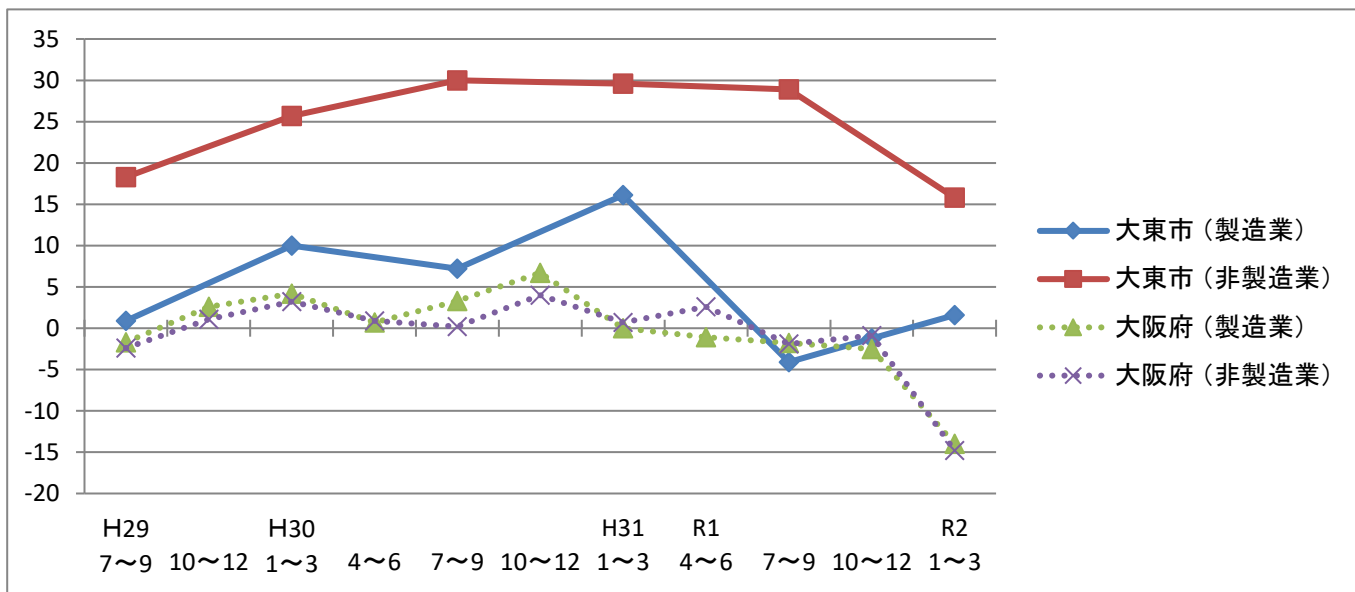
### ○出荷・売上高

出荷・売上高DI(「増加」-「減少」企業割合)⇒ 製造業:-54.4% 非製造業:-52.3%  
 前回調査結果(製造業:-31.7%、非製造業:-14.4%)から、製造業・非製造業ともに急速に下落し、特に非製造業の落ち込みが急激なものとなった。直近の大阪府データ(製造業:-48.8%、非製造業:-40.4%)との比較では、製造業では5.6ポイント、非製造業では11.9ポイントそれぞれ下回った。市内においても特に飲食店(-85.0%)と小売業(-66.0%)の厳しさが際立つ結果となった。



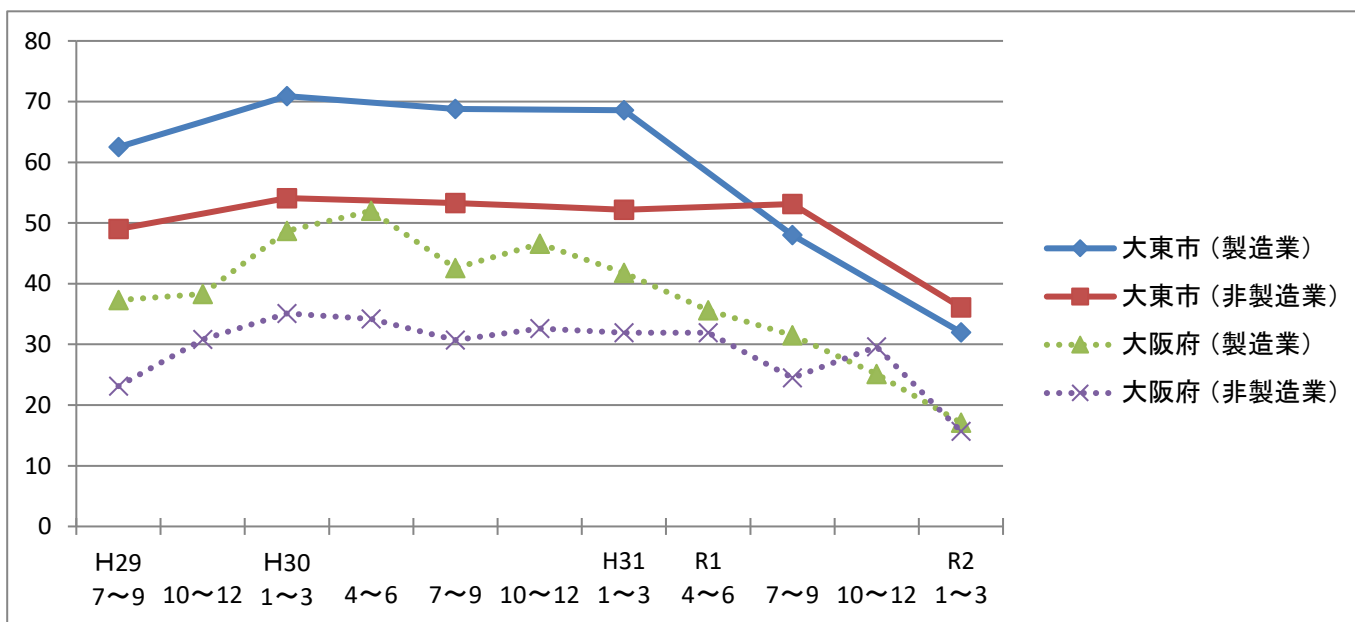
## ○製・商品、サービス等の単価

製・商品、サービス等の単価DI(「値上り」-「値下り」企業割合)⇒ 製造業:1.6% 非製造業:15.8%  
 前回調査結果(製造業:-4.1%、非製造業:28.9%)から、製造業はやや回復、非製造業は下落した。  
 直近の大阪府データ(製造業:-14.0%、非製造業:-14.8%)との比較では、製造業・非製造業ともに上回る結果となり、非製造業では今回も高位で大阪府の平均値を上回っている。令和元年10月からの消費税増税の影響も一部ある為か、市内では特に建設業(35.3%)、飲食店(30.0%)において単価のプラス幅が大きい。



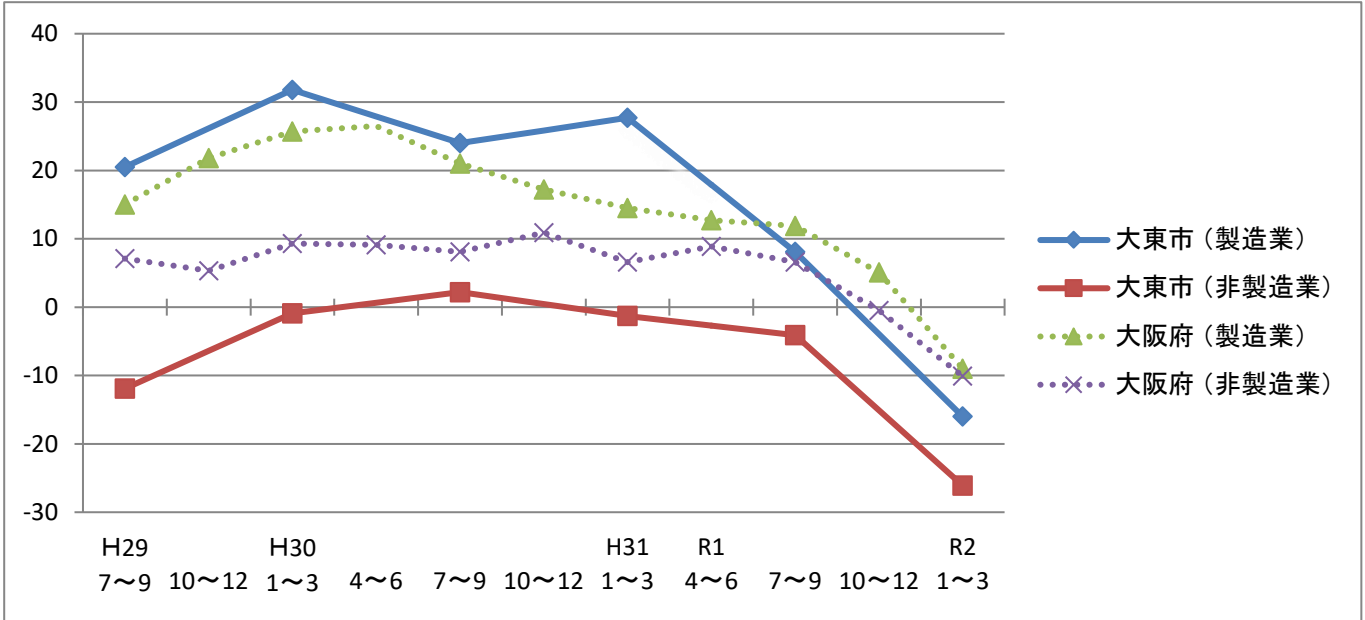
## ○原材料・部品等の仕入価格

原材料・部品等の仕入価格DI(「値上り」-「値下り」企業割合)⇒ 製造業:32.0% 非製造業:36.1%  
 前回調査結果(製造業:48.0%、非製造業:53.1%)から、製造業・非製造業ともに急落の結果となった。  
 また直近の大阪府データ(製造業:17.1%、非製造業:15.7%)との比較では、製造業は14.9ポイント、非製造業は20.4ポイントのプラスと、多くの市内企業が引き続き仕入価格の高止まりを感じている現状が窺える。大東市内では、飲食店(65.0%)における仕入価格の値下がり回答は0件であった。



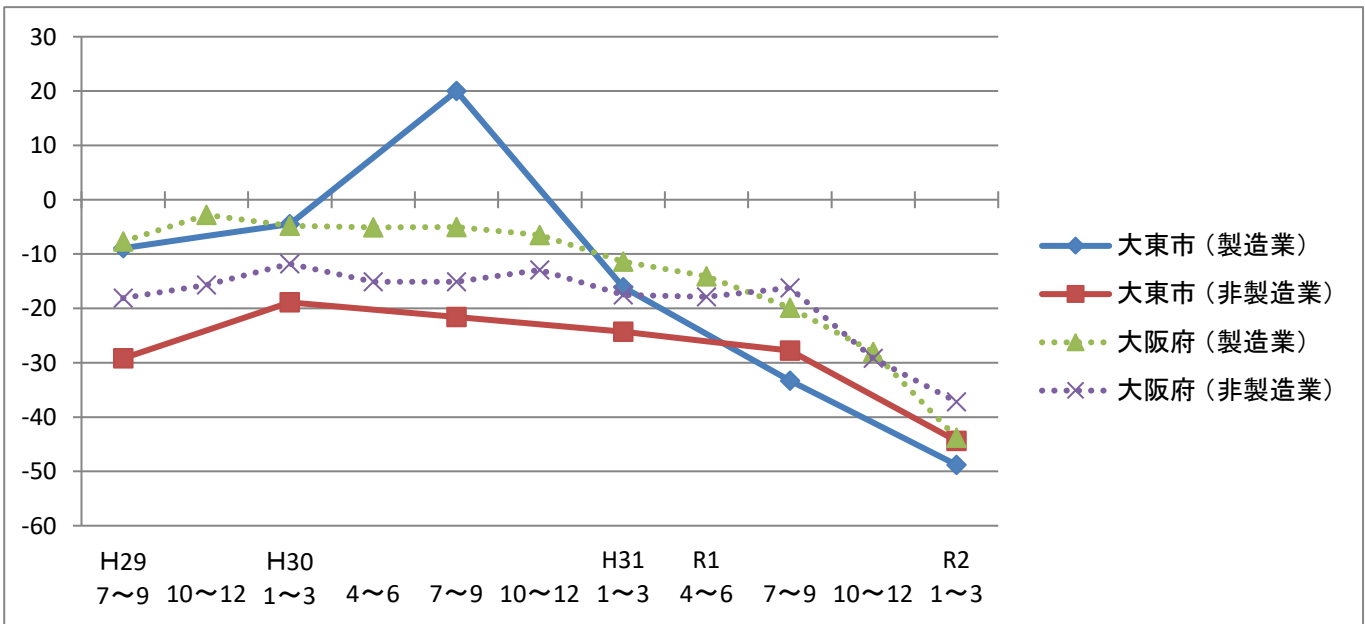
## ○営業利益

営業利益DI(「黒字」-「赤字」企業割合)⇒ 製造業:-16.0% 非製造業:-26.1%  
 前回調査結果(製造業:8.1%、非製造業:-4.1%)から、製造業・非製造業ともに大きく下落した。  
 直近の大阪府データ(製造業:-9.0%、非製造業:-10.1%)との比較でも、市内製造業・非製造業ともに大阪府の数値を下回った。大東市内では、飲食店(-65.0%)、小売業(-44.0%)サービス業(-30.2%)に赤字の回答が多く、黒字の回答が上回ったのは卸売業(8.3%)のみであった。



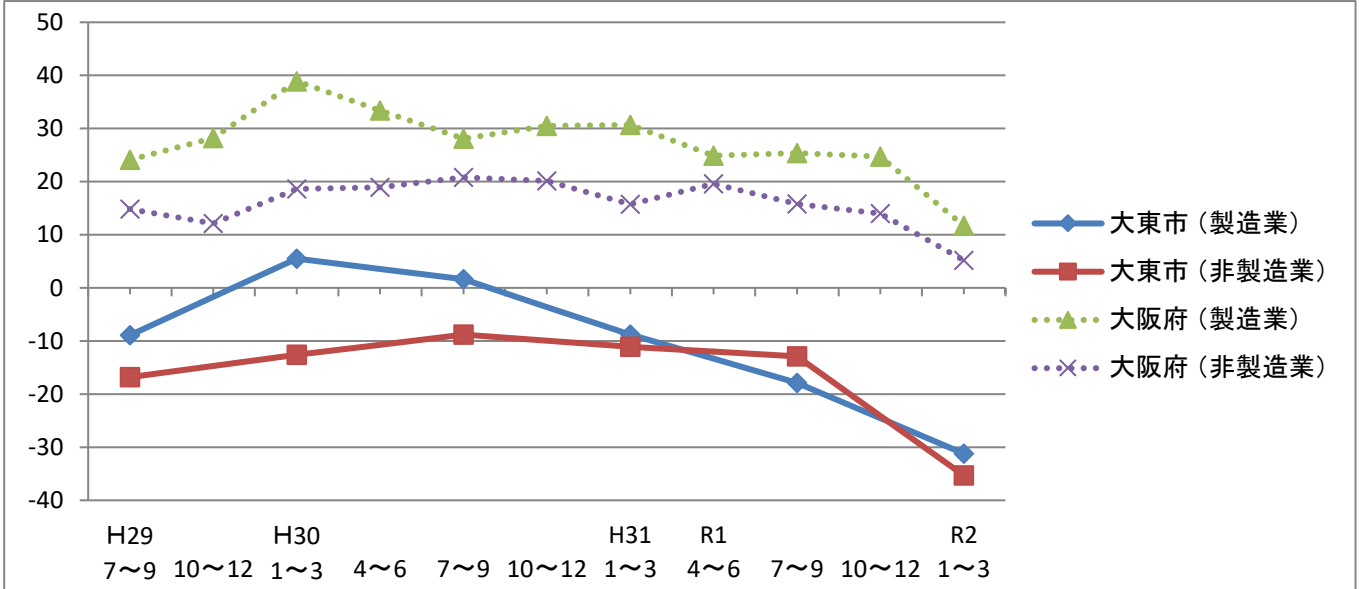
## ○採算状況

採算状況DI(「良くなった」-「悪くなった」企業割合)⇒ 製造業:-48.8% 非製造業:-44.4%  
 前回調査結果(製造業:-33.3%、非製造業:-27.8%)から、製造業・非製造業ともに急落した。  
 直近の大阪府データ(製造業:-43.8%、非製造業:-37.2%)との比較でも、製造業は5.0ポイント、非製造業は7.2ポイント下回った。採算状況でも、特に飲食店(-85.0%)、小売業(-56.0%)の厳しさが目立った。



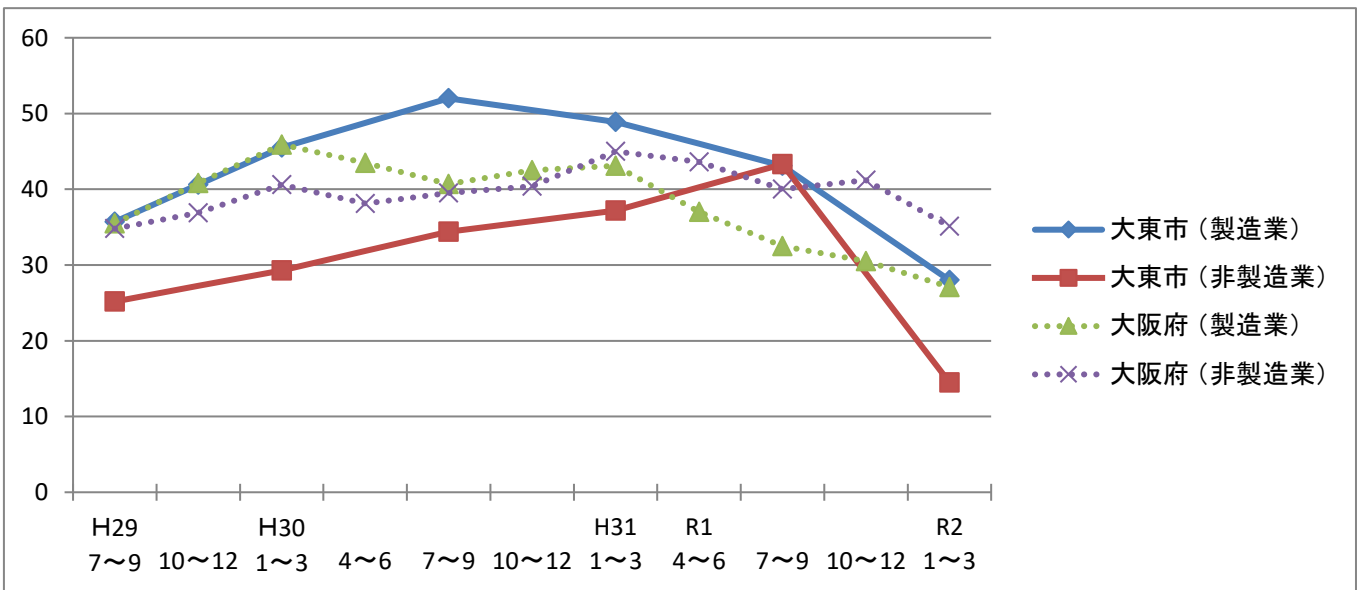
## ○資金繰り

資金繰りDI(「良くなった」-「悪くなった」企業割合)⇒ 製造業:-31.2% 非製造業:-35.3%  
 前回調査結果(製造業:-17.9%、非製造業:-12.9%)から、製造業・非製造業ともに急速に悪化した。  
 直近の大阪府データ(製造業:11.7%、非製造業:5.2%)との比較では、各々42.9ポイント、40.5ポイントも  
 下回っており、特に飲食店(-85.0%)や小売業(-42.0%)は平均値から大幅に乖離しており、改善余地の  
 大きいことが窺える。これまでの調査と同様に、大阪府との差が最も顕著に出た指標となり、市内企業の  
 多くが継続して資金繰りの課題に直面している可能性が高いものと推測できる。



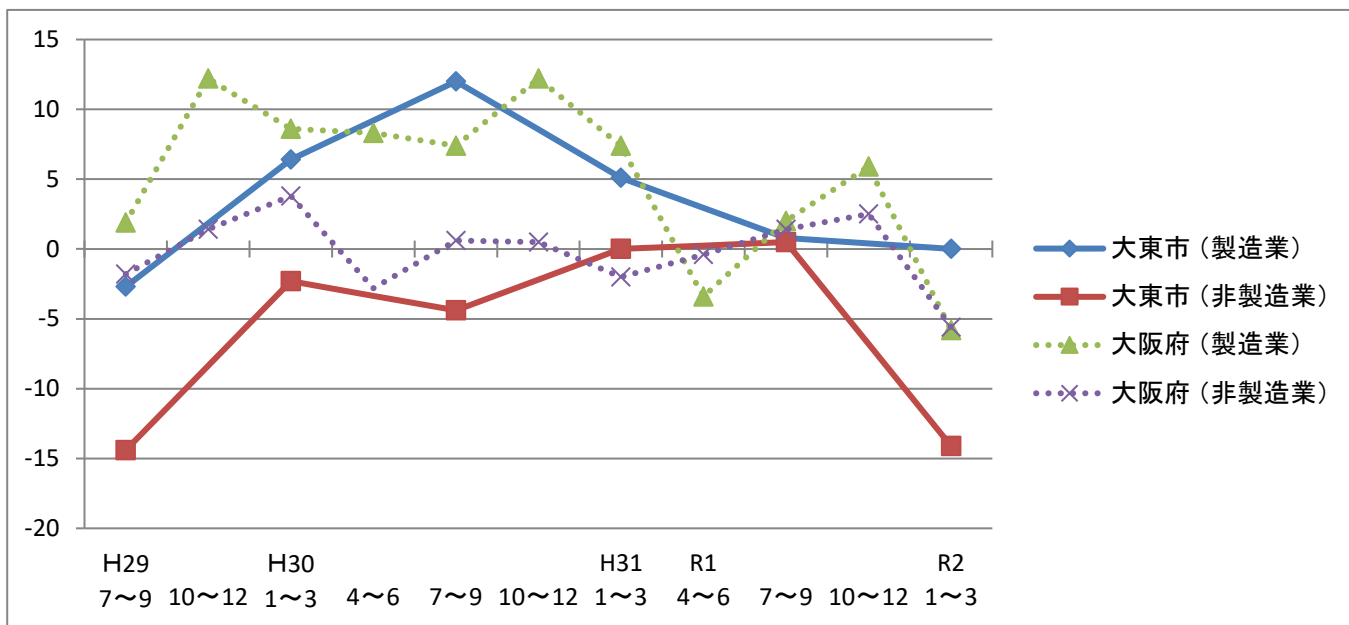
## ○雇用状況(雇用不足感)

雇用状況DI(「不足」-「過剰」企業割合)⇒ 製造業:28.0% 非製造業:14.5%  
 前回調査結果(製造業:43.1%、非製造業:43.3%)から、製造業・非製造業ともに雇用不足感は減少。  
 雇用情勢は一服感がみられる。直近の大阪府データ(製造業:27.1%、非製造業:35.1%)との比較では、  
 製造業は0.9ポイント上回り、非製造業では20.6ポイント下回った。市内では、引き続き建設業(41.2%)の  
 値が高かった反面、飲食店(-10.0%)は雇用不足感より過剰感が唯一上回る結果となった。



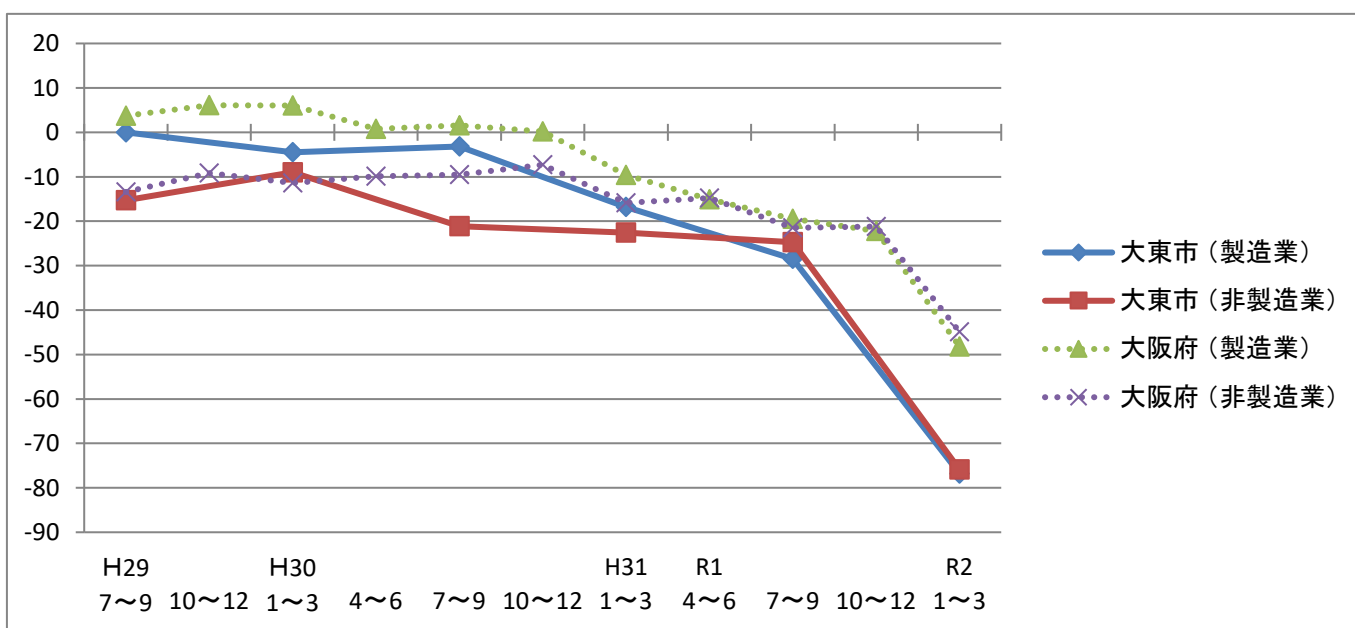
## ○設備投資

設備投資DI(「増加した」-「減少した」企業割合)⇒ 製造業:0.0% 非製造業:-14.1%  
 前回調査結果(製造業:0.8%、非製造業:0.5%)から、製造業は若干減少、非製造業は大幅減少した。  
 直近の大阪府データ(製造業:-5.8%、非製造業:-5.6%)との比較では、大東市内の製造業は5.8ポイント上回った反面、非製造業では8.5ポイント下回る結果となった。

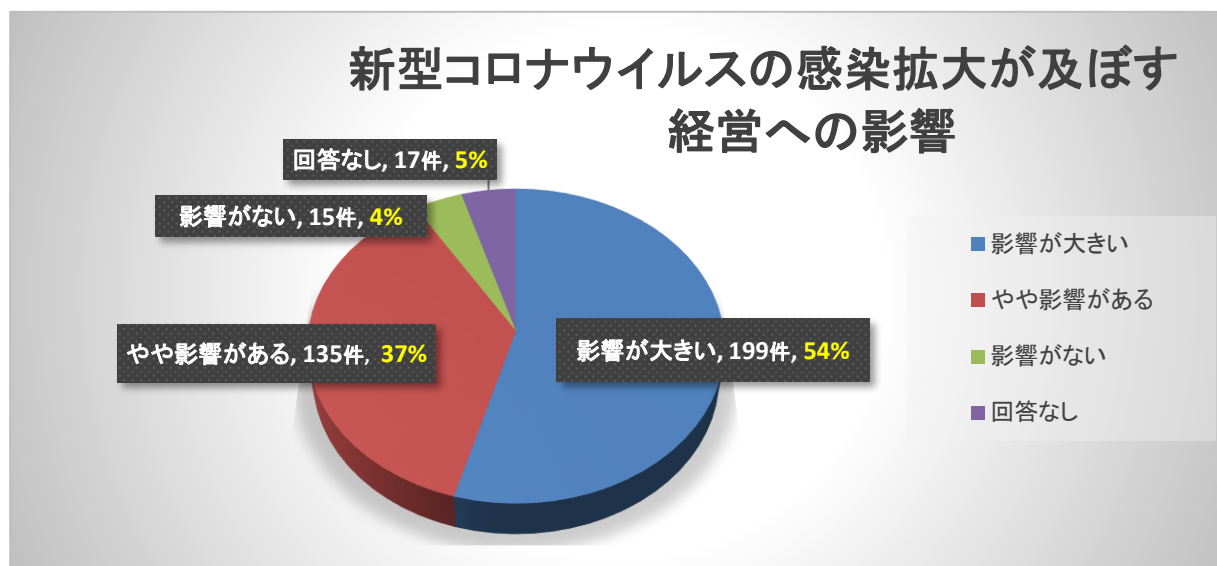


## ○来期の業況見通し

来期の業況見通しDI(「良くなる」-「悪くなる」企業割合)⇒ 製造業:-76.8% 非製造業:-75.9%  
 前回調査結果(製造業:-28.5%、非製造業:-24.7%)から、製造業・非製造業ともに大幅かつ急速に下落。  
 直近の大阪府データ(製造業:-48.2%、非製造業:-44.9%)との比較でも、製造業は28.6ポイント、非製造業も31.0ポイント下回るなど今回は全業種で-60%を越す悪化が示され、従来にない厳しい結果となった。



## ○新型コロナウイルスの感染拡大が及ぼす経営への影響



## ○自由意見(抜粋)

産業分類	従業員数	自由意見
外衣製造業	A	学生服の縫製から撤退した。モデルチェンジした為。小さい業者さんの仕事をするとあまりにも加工費が安いので生活していけない状態です。
家具製造業	B	今後、新型コロナウイルスの影響がどの程度出てくるのか心配。リーマンショック時のように次々と企業倒産がおきなければよいのだが。
プラスチック製品製造業	D	新型コロナウイルスに加え、オリンピックの延長により受注が大幅に減っている。
非鉄金属製造業	B	自動車業界の影響を受けるであろう下期以降の不安が大きい。
金物類製造業	B	リーマンショック時もかなり厳しかったがそれ以上となると……しんどい。苦しい。
製缶板金業	A	受注に波があり安定とまでいかない。
金属プレス製品製造業	A	電子部品の販売もあります。自動車部品の販売ウエイトが高い為、今後の自動車生産状況次第です。
金属製品製造業	A	使用していた機械が故障したが修理代がなくて修理できない。給料が出せなくて生活状況が悪化している。この先家賃(工場)が払えなくなるかもしれない。
ボイラ・原動機製造業	C	サプライチェーンの安定的維持が重要。(生産活動を維持するため)
各種機械部分品製造修理業	A	中間業者が廃業の為、メーカー直取引に。次期より一部作業は増えて単価アップがのぞめる予定。
一般土木建築工事業	B	資材の供給に不安。需要の減少に不安。コロナ融資で債務が増えるのが不安。債務超過になり資金繰りを圧迫する。
とび工事業	A	コロナによる半年、1年後がいろいろな不安がある。
鉄骨工事業	C	今はコロナの影響はないですが、長い期間では必ず影響が出てくると思います。

建築金物工事業	A	消費税8%～10%になる前の駆け込み契約の工事が現在終盤迎えて景気に不安がある上に、今回のコロナで当社の場合後から痛手を負うことが多く先々どうなるか不安です。
建築金物工事業	A	新型コロナウイルスの終息時期が見えてこない所以对策方法が構築できない。国家単位で対応してほしいです。
塗装工事業	A	コロナにより行動範囲が狭くなり、企業努力がむずかしい。このままいけば赤字になるかも！！
防水工事業	B	コロナになると思っていなかったので、外国人雇用2人と高卒2人を雇ってしまい大変でした。
各種商品卸売業	A	弊社の事業は菓子、食品の輸出業になります。2020年2月から出荷量が低下しています。海外の対応は日本より厳しいため、更に状況が悪くなる事を危惧しています。
電気機械器具卸売業	A	コロナで中国および世界の輸出入、生産の遅れ等にて打撃。日本でも在宅勤務、面談不可等にて売上下降です。
婦人服小売業	A	今までの悪化傾向にプラス今回の新型コロナで世界中が大不況感。購買意欲減少。中国東南アジアへの生産シフトのツケがついにきた。商品が上がってこない。これで店休業となると経費支払だけが残り一気に資金不足に陥る。だが、このコロナだけは人類存亡の危機なので全面協力する。医療従事者に心から感謝と応援をします。
靴小売業	A	コロナショックで客足が悪い！学校の休み等で新学期用品もどんぶり。
パン小売業	A	新型コロナウイルスの影響でホテルへの納品分が大幅に減少しました。
電気機械器具小売業	A	コロナウイルスの影響で消費行動の減少、商品の流通不足などが原因でお金が回ってなく大変です。
金物小売業	A	産業界が大きく変化しそう。対応できるか不安である。
損害保険代理業	A	先行きがものすごく不安。倒産する会社が出てくると思う！
不動産代理業・仲介業	A	カラオケ、居酒屋の家賃支払いが遅れると危惧しています。
貸家業	A	人、物の移動が制約され売り上げの減少が予想される。
バー、キャバレー、ナイトクラブ	A	コロナウイルスの影響で客足がにぶり売上減少です。営業していて良いのか休業したら収入がないし不安です。
酒場、ビヤホール	A	コロナで今後の経営不安です。支援金など分かりやすい資料をお願いします。
酒場、ビヤホール	A	自粛要請は居酒屋にとって死活問題。客激減0状態。
エステティック業	A	コロナの影響がかなりきつい。店を閉めている状況中。
理容業	A	商売上いつもドアを開けて仕事をするわけができず困っています。お客さんの姿が見えてしまうからです。プライバシーの問題があります。
理容業	A	コロナウイルスの影響が続くとお店の経営も難しくなっていく感じがします。
美容業	A	コロナの影響でかなり厳しい！輪をかけて悪い！
自動車一般整備業	A	我々の業界ではディーラーの一人勝ちになっていくのかな。小さな町工場の未来は淋しい。

\* 従業員数 A…0～5人 B…6～20人 C…21～50人 D…51～100人 E…101人以上